

ごあいさつ

組合員並びに地域の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年より世界中で感染が拡大している新型コロナウイルスの影響により世界的規模で経済活動は停滞しており、その影響はいまだ拡大をしており収束の見えない状況にあります。当JAにおいても各事業への影響は大きく、特に生活福祉事業においては大幅な事業量の減少となりました。

このような状況下において、私たちの農業を取り巻く環境は、農業者の高齢化による離農、担い手不足、そして地域の人口減少に拍車がかかっている状況にあります。またマイナス金利政策は今後も長期的に続くと考えられ、農林中央金庫の奨励施設見直しなどによる信用事業収益低下や、取り巻く経営環境の変化、そしてJA経営基盤の悪化が進んでいます。当JAは自己改革の基本理念である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3本柱を基本に経営基盤強化に取り組み、営農、信用、共済、経済のJAの最大の強みである総合事業を推し進めてまいりました。

特に令和3年度より農畜産物の販売手数料の改定を実施させていただき、農業者の皆さまにはご負担をお願いすることとなりますが、一層の販売強化とサービス提供に取り組みます。また今後においては拠点の統合などによる再編や機構改革を実施し、経営基盤の強化と経営効率化を図る計画であります。

このようななか令和2年度においては経常利益段階では2億26百万円と計画比260%と大きく進捗をすることができましたが、会計処理上による多額の減損損失を計上したため、最終的に令和2年度は21百万円の損失金計上となりました。

また過去の不祥事により平成28年より長期間にわたり要改善JAに指定されておりましたが、昨年12月によりやく要改善JA指定解除となりました。体制整備の確立、コンプライアンス意識の醸成の結果であります。引き続き不祥事未然防止と継続的なコンプライアンス強化に取り組んでまいります。

今後においても私たちの農業を取り巻く状況は厳しいことが予想されますが、私たちJA甘楽富岡は地域に密着し、組合員、利用者の皆さまから選ばれるJA、なくてはならないJAを目指してまいります。

最後に組合員の皆さまには日頃からのJA事業に対してのご理解とご協力に厚く感謝申し上げます。今後ともJAへのご支援を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。